

令和6年度第4回小金井市長期計画審議会

日 時 令和6年12月23日(月) 午前10時20分～午後0時5分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 8人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

委 員 田 中 千鶴枝 委員 檜 山 渚 委員

木 場 征 夫 委員 鈴 木 琢 真 委員

須 藤 吉 章 委員 浅 野 智 彦 委員

井 寺 喜 香 委員

欠席委員 7人

高 松 央 介 委員 田 端 佑 也 委員

天 野 佳 奈 委員 小早川 良 信 委員

福 平 恵 一 委員 萬 羽 郁 子 委員

出 戸 剛 委員

事務局 企画政策課長 富田 絵実

企画政策課係長 中島 広樹

企画政策課主任 兼堀 義信

アビームコンサルティング株式会社 大川 創平

アビームコンサルティング株式会社 中村 圭介

アビームコンサルティング株式会社 前田 拓也

アビームコンサルティング株式会社 久原 向日葵

傍聴者 1人

◎富田企画政策課長 皆様、お忙しい中お集りいただき、ありがとうございます。現時点で長期計画審議会委員15人のうち、7人の方に御出席いただいております。本日は9人の方から参加する旨の御連絡をいただいていたところですが、先ほど、お一人の方から、やむを得ない事情により欠席する旨の御連絡がありました。また、井寺委員からは、現在向かっている途中との御連絡があり、お越しいただくまでに、もうしばらくお時間がかかりそうです。

会議が正式に成立するためには、定足数である8人以上の出席が必要となりますが、時間どおりにお越しいただいた皆様をお待たせすることとなるため、順番を変更し、「次第2 今期の振り返り」から始めさせていただき、委員がおそろいになられたところで、「次第1 第5次基本構想・後期基本計画の策定について」の御説明をさせていただければと思います。よろ

しいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

御協力ありがとうございます。皆様からいただく、今期の振り返りの御発言につきましても、会議録に残させていただきたいと思っておりますので、御発言される際には、お名前を先におっしゃっていただいた上で御発言をお願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、正式な開会の宣言は委員がそろい次第ということになりますが、「次第2 今期の振り返り」から始めさせていただきます。

委員の皆様一言ずつ、今期を振り返って感想などをおっしゃっていただきたいと思っております。

◎**鈴木委員** グループワークを中心とした施策の評価について、次年度につながるアクションを一緒に考えることができました。自分が持っていなかった視点を他の委員の方の意見等を踏まえ、新たな角度から施策を見ることができたのは自分自身にとってすごくプラスになりました。会議に参加させていただいて、小金井市のことを知ることができたことに加えて、自分自身の知識が深まり、大変有意義であったと思っています。次期については、取り組むべきものはたくさんあると思っておりますが、私自身の組織を含めて、より良い小金井市になるような考えを提供できればと思っています。引き続きよろしくをお願いいたします。

◎**須藤委員** 商工会から推薦されております。私も知らないことばかりでどのような評価をすべきか悩みながら取り組んできました。2年間評価をしてきましたが、視点はあまり変わらないというか、1年目と同じようなことを考えておりました。そのため、委員が入れ替わった方が良かったのですが、商工会の次期の候補が見つからなかったため、引き続き担当する予定です。よろしくをお願いいたします。

◎**田中委員** 私は普段、市のことや市の未来を考える機会はないのですが、この場に来ると違う考えで脳を活性化することができて、その観点ではとてもプラスだったと思っております。市の計画について知らないことだらけでしたが、この活動を通して、計画策定に当たり、こんなことまで考えてやっているのかということを知ることができました。また、市の皆さんが頑張ってくださっていることに感謝しております。次期委員の予定はありませんが、この活動を通して、小金井市民として市の活動を知ることができて良かったです。ありがとうございます。

◎**桜山委員** 2年前にお手紙を頂いて、お手紙を頂くまでは小金井市の市政には全く関わったことがなく、貴重な機会をいただけて私自身も勉強になりましたし、小金井市が今どんなことに重点を置いて、どのように施策を進めているかを知ることができ、良い経験になりました。次期もお世話になる予定で、皆さんは、いろいろなところからそれぞれのプロフェッショナルでいらして、私は一般市民の代表として皆さんとは違った視点で小金井市に貢献できるように頑張りますので、よろしくをお願いいたします。

◎**木場委員** 長期計画審議会は、多世代の意見交換の場でもあると思っておりますが、圧倒的に私は高齢者です。この2年間で驚いたというか感心したことは、市の行政がP D C Aで動いている、

そしてデジタル化が進んでいるということでした。この2点に関しては、私の予想外のことでした。PDCAについて、私ども小金井市シルバー人材センターでは、見解を述べることはできるのですが、プランで終わってしまうことが多々あります。いろいろ勉強させていただいたということに、大変感激しています。以上です。

◎**浅野委員** 教育委員会から参りました。私からは3点お話をしたいと思います。1点目は、今年は1番大切な最初の会議に出席することができず、申し訳ありませんでした。2点目は、少しだけ参加させていただいた、市民懇談会と高校生ワークショップについて、これは事務局の皆さん準備等大変だったかと思います。とても貴重な機会を設けていただきありがとうございました。ワークショップ自体はとても大切な取組なのですが、すぐに目覚ましい効果が出るわけではないため、そのような取り組みをまじめに粘り強くやっていくことが大事です。小金井市は全体として、そういうところを丁寧にやっている印象があり、今回もきちんとやっていただいているのが良いと思いました。3点目は、高校生ワークショップについて、若い人を対象として働きかけることが大切だと思っています。高校生に参加を呼び掛ける仕組み自体も、市民参加推進会議で10年前に提案されたと記憶しております。若い方への働きかけもすぐに効果が出るわけではないので、非常に長い道のりですけれども、粘り強く取り組んでいく必要があるため、高校生ワークショップは非常に価値のある試みでした。

(井寺委員出席) (午前10時20分開会)

◎**渡邊会長** それでは、本日の出席委員がそろいましたので、開会の宣言をいたします。

ただいまから、令和6年度第4回小金井市長期計画審議会を開催します。

本日は、高松委員、田端委員、天野委員、小早川委員、福平委員、萬羽委員、出戸委員から欠席の連絡が入っております。

定足数につきましては、「小金井市長期計画審議会条例」第5条第2項に、半数以上で成立することと定められております。現時点で15人中8人の出席でございますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。

井寺委員、お越しいただいて早々に申し訳ありませんが、引き続き、今期の振り返りを願います。

◎**井寺委員** 俯瞰的な立場から市を見るきっかけになりました。農業委員会の代表として来ているのですが、そちらで考えていたことが少しずつ実践されているので、時間の経過が必要なのだと思います。あとは、やはり市民力が強いまちなので、私は他の自治体との懸け橋のような仕事をしていますが、すごく小金井市の底力を感じるきっかけとなりました。ありがとうございました。

◎**渡邊委員** 皆さんありがとうございました。皆さんここで勉強されたということで、小金井市のサポーターとして今後活躍してほしいと思っています。委員としては、私は実は30年関わっていますが、年々進め方が科学的になっているなと思います。データを集めて検討して、次の施策を構築するという意味で科学的に事が進められています。データの分析の方法もかな

り進化していますし、ワークショップで得られた意見をデータとして集めており、行政として立派に成長しているという印象を持っています。次に、P D C Aサイクルの取組についてなのですが、私はフィードバック自動制御の専門で、P D C Aサイクルにはこだわりがありまして、意見を述べます。P D C Aのサイクルを作るわけですが、サイクルは連続的に行わないと意味がないものです。1年前くらいに決めたことを半年後、1年後のチェックでは、その間、世の中はどんどん変わっていったので、対応できなくなっていく。昔のシャワーのように蛇口には赤色と青色のものがあり、赤色の蛇口をひねってもホースの中にお湯が出るまでに時間がかかります。冷水が続き、赤い蛇口をさらに開くと熱いお湯が出てきて熱すぎると青い蛇口をひねるわけです。ホースの中に水が入っている間に時間を要し時間遅れが発生し、お湯の温度が冷たかったり熱すぎたりと変化します。これはフィードバックサイクルの時間遅れによる難しさを表しています。地球温暖化は、産業革命が始まった時期に始まって、ようやく今になって顕在化しており、50年後、100年後は予測できないくらいすさまじいことになっていると思います。小金井市における施策を評価するときも、我々は年に1回か2回かしかチェックしませんが、行政の皆さんとしてはどのように実行すべきかを毎日考えないといけないと思います。昨日のことを反省して今日のアクションにつなげていくことが大切です。行政の皆さんには連続的に毎日チェックしていただいて、行動につなげていただきたいと思います。そうでないとフィードバック制御の循環型の制御はうまくいかないと思います。

我々は行政のことを勉強させていただいているという側面もありますけれども、新鮮な市民感覚でこういったことが良いのではと意見を述べることも非常に大切です。こういう会議はきちんと持つべきだと思います。

もう1点、有名な泉佐野市では、過去の記事にはなりますが、ふるさと納税で800億円集めています。そのうち諸経費を除いて250億円は市民に還元したと書いてありました。泉佐野市の真似をしろというわけではないですが、市を運営するという観点からすると、ふるさと納税に限ったことではないと思うのですが、インパクトのあることをやってほしいなと思っています。全国的に有名になって、小金井市ここにあり、というようなことをやってほしいと思います。市の職員だけではなく、市民、市議会、商工会などと協力して計画していただければと思います。私からは以上です。

それでは改めまして、本日配付されております資料の説明を事務局からお願いいたします。

◎**富田企画政策課長** まずは本日の次第でございます。資料1「第5次基本構想・後期基本計画策定事業概要」がA4で1枚の資料です。資料2「市民意向調査報告書（概要版）」、資料3「小中学生アンケート結果報告書（概要版）」及び資料4「市民懇談会・高校生ワークショップ報告書（概要版）」がA4でホチキス留めの資料です。

なお、本日は後期基本計画策定支援の委託先であるアビームコンサルティング株式会社も同席しており、資料2から資料4について御説明させていただきます。本日配付の資料は以上となります。不足等ございましたら挙手をお願いします。

(資料の不足等が無いことを確認)

よろしいでしょうか。渡邊会長、お願いいたします。

◎渡邊会長 それでは、「次第1 第5次基本構想・後期基本計画の策定について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

◎富田企画政策課長 市の最上位計画である第5次基本構想・前期基本計画の計画年度が令和7年度末に終了することに伴い、令和6年度と令和7年度の2か年をかけて、令和8年度から令和12年度を計画期間とする、第5次基本構想・後期基本計画を策定いたします。まずは、資料1から順に御説明いたします。

◎中島企画政策係長 資料1「第5次基本構想・後期基本計画策定事業概要」を御覧下さい。「1 事業の目的」です。

長期計画審議会委員の皆様には施策評価に係る外部評価をいただいております、第5次基本構想・前期基本計画の計画年度終了に伴い、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする第5次基本構想の後半5年分の計画を策定いたします。

なお、外部評価につきましては、実績を踏まえ担当課が施策を評価し、その後、委員の皆様には評価していただいていることから、令和7年度は後期基本計画の策定と並行して、令和6年度分の外部評価をお願いすることとなります。

「2 事業概要」です。(1)市民意向調査、(2)データブックにつきましては、長期計画審議会の皆様には後期基本計画の素案を御審議いただく際の資料となるもので、報告書は現在作成中です。本日は、参考に前期基本計画策定時に作成した冊子を机の上に置いております。また、(3)及び(4)に記載のとおり、長期計画審議会の皆様には、計画策定においては、市民の視点からあるいは専門的見地から活発な議論・検討をお願いしたいと考えております。

「3 事業スケジュール(案)」です。まず、審議の体制といたしましては、長期計画審議会と長期計画起草委員会の2部体制で行いたいと考えております。

長期計画審議会は、市長からの諮問に対し、令和7年12月までに答申をいただくこととなります。「5 その他」に記載のとおり、全12回程度の開催を予定しております。長期計画起草委員会からの報告を受け、意見を調整し、決定を中心とした場となりますので、全体感や客観性、総合的な視点で御審議いただければと思います。

長期計画起草委員会は、6の政策分野について詳細に御議論いただく場でございます。「5 その他」に記載のとおり、政策分野を分けたグループごとに、全4回程度の開催を予定しております。施策の現況と課題やその方向性、課題を踏まえた取組内容や成果活動指標の検討を行いつつ、その経過を都度、長期計画議会に報告するとともに、素案を固めていただくこととなります。

なお、長期計画起草委員会のメンバーは、長期計画審議会委員のうちから会長が指名することとなっております、全16回程度の開催となることから、長期計画起草委員会を中心に御無理のない範囲で御出席いただければと考えております。

続きまして、市民意向調査、小中学生アンケート、市民懇談会及び高校生ワークショップです。記載しているスケジュールのとおり実施いたしました。市民懇談会及び高校生ワークショップの見学にお越しいただきました委員の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。また、本日はアンケートの速報値及びワークショップの概要等につきまして、この後、後期基本計画策定支援の委託先であるアビームコンサルティング株式会社より御説明させていただきます。続きまして、市民フォーラムです。後期基本計画を広く市民に周知するため、小金井交流センターの1階オープンスペースにパネル展示するなど、オープンハウスという形式で、9月に開催を予定しております。長期計画審議会委員の皆様にも御参加いただくことを想定しておりますが、詳細につきましては現在検討中です。

最後には、10月中旬から1か月間、パブリックコメントの実施を予定しており、「4 市民参加の取組」のとおり、多様な市民参加の手法を取り入れ、計画を策定してまいります。

「5 その他」の次期市民公募委員についてです。現在の市民公募委員の皆様の任期が令和7年1月26日までとなっていることから、令和6年10月15日より次期委員の募集を開始いたしました。一般公募と無作為抽出により募集し、一般公募につきましては募集人数3人に対し10人の応募があり、無作為抽出につきましては募集人数2人に対し3人の応募がありました。選任結果につきましては、市報令和7年1月1日号に掲載を予定しております。

説明は以上です。

◎**富田企画政策課長** 次に、アビームコンサルティング株式会社より、資料2から資料4について御説明させていただきます。アビームコンサルティング株式会社の皆さん、よろしく願います。

◎**中村（アビームコンサルティング株式会社）** 後期基本計画において実施した調査やワークショップにつきまして、御支援させていただいているアビームコンサルティング株式会社から説明させていただきます。

資料を投影させていただいておりますが、机上にも配布させていただいておりますので、適宜両方を御参照いただきながら説明させていただければと思います。まず初めに、机上には配布しておりませんが、全体の留意事項を御説明させていただければと思います。本日の審議会資料は、簡潔に調査結果を御報告させていただくため、概要版となっております。報告書本体については改めて御提示させていただきます。また、各調査結果を踏まえ、今後、計画へ反映させてまいります。例えば、それぞれの調査結果による市民の意見を一覧化するなどし、反映可否を含め管理する想定です。

それでは、資料2「令和6年度小金井市市民意向調査報告書（概要版）」に沿った形で説明させていただきます。目次を御用意させていただいております。大項目1にて実施項目と設問を掲載しており、大項目2にて調査結果を掲載しております。

実施概要ですが、3ページに掲載させていただいております。小金井市内にお住まいの方で満18歳以上の男女2,000人の方に無作為抽出で郵送またはWEBで御回答いただい

ます。有効回答数は641人で、有効回答率は32.1%となっています。4ページ、5ページには設問項目一覧を掲載しています。

それでは、7ページから調査結果を御報告いたします。7ページから12ページには属性情報の回答を示しております。属性の回答結果で、性別は、「男性」が42.7%（274件）、「女性」が54.5%（349件）であり、女性の方が多いです。年齢は、「50～59歳」（18.7%）が最も高く、以下、「40～49歳」（17.5%）、「30～39歳」（13.6%）と続いています。居住年数について「30年以上」（32.1%）が最も高く、以下、「5年未満」（19.3%）、「20～29年」（17.6%）と続いています。居住地域は、「武蔵小金井地域」（44.6%）が最も高く、以下、「東小金井地域」（30.4%）、「野川地域」（22.6%）と続いています。職業は、「会社員、公務員などの勤め人」（41.3%）が最も高く、以下、「無職」（18.1%）、「専業主婦・主夫」（14.2%）と続いています。通勤・通学地は、「23区内」（48.7%）が最も高く、以下、「多摩地域（市外）」（27.3%）、「小金井市内」（17.5%）と続いています。居住形態は、「持ち家（一戸建て）」（54.4%）が最も高く、以下、「借家（マンション・アパートなど）」（19.3%）、「持ち家（マンションなど）」（17.0%）と続いています。世帯構成は、「二世帯が同居（子どもと同居）」（42.0%）が最も高く、以下、「夫婦のみ」（25.3%）、「単身世帯」（16.4%）と続いています。同居家族は、「65歳以上」（27.0%）が最も高く、以下、「就学前（0～5歳）」（12.6%）、「小学生」（12.0%）と続いています。

13ページから17ページでは、「小金井市の住み心地やイメージ等について」の回答を示しております。住みやすさを聞いたところ、「住みやすい」（42.3%）と「どちらかといえば住みやすい」（46.6%）を合わせて88.9%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率（84.5%）よりも4.4ポイント高くなっています。

14ページでは、定住志向を聞いたところ、「住み続けたい」（41.0%）と「できれば住み続けたい」（40.2%）を合わせた81.2%が肯定的な回答をしており、前回調査の肯定回答率（80.0%）よりも1.2ポイント高くなっています。

15ページでは、小金井市の良い点や自慢したい点を聞いたところ、「みどりや水辺などの自然」（56.6%）や「静かで落ち着いた住環境」（50.7%）が高く、次いで「日常生活に便利で暮らしやすい」（43.7%）が高くなっています。

16ページでは、小金井市のアピールできるものについての質問回答をテキストマイニングという手法で分析しました。「小金井公園」、「野川公園」、「多摩川上水」、「自然」、「緑」などの単語から「公園が充実し、自然が豊か」という認識があるとうかがえます。また、「アクセス」、「都心」、「便利」、「住」、「子育て」、「治安」などの単語から、「都心へのアクセスが良い」、「生活がしやすい」という認識があるとうかがえます。

17ページにおいても、10年後の小金井市がどんなまちになってほしいかについての回答

を、テキストマイニングを用いて分析しました。「自然」や「緑」、「豊か」、「多い」、「維持」などの単語から、「自然環境を維持する」というイメージが多く見られます。「充実」、「駅」、「施設」、「医療」、「教育」、「生活」、「便利」などの単語から、「生活に必要でより豊かにする施設の充実」というイメージが多く見られます。

18ページから27ページでは、「市の施策について」を示しています。18、19ページでは、施策への満足度についての回答を示しています。『満足』度が高い項目としては、「みどりと水の環境整備」（66.0%）、「住環境の整備」（40.9%）、「都市インフラの整備」（41.1%）となっています。『不満』度が高い項目としては、「市街地の整備」（29.6%）、「交通環境の整備」（26.7%）、「産業・観光の振興」（27.2%）となっています。

20、21ページでは、施策の重要度についての回答を示しています。重要度の高い項目としては、「みどりと水の環境整備」（80.9%）、「危機管理体制の構築」（77.4%）、「地域の安全・安心の向上」（78.3%）となっています。

22ページでは、29の施策のうち優先的に進めていく必要があると考える取組についての回答を示しています。特に優先的に進めていく必要がある取組は、「みどりと水の環境整備」（20.0%）が最も高く、以下、「子育て家庭の支援」（18.1%）、「高齢者が暮らし続ける仕組みの充実」（17.0%）と続いています。

23ページでは、小金井市第5次基本構想・前期基本計画の周知度を聞いたところ、全体として、「今回のアンケートで初めて知った」と回答した割合が64.6%と高くなっていました。「内容は知らなかったが、策定されたことは知っていた」（18.4%）と「内容まで理解している」（2.2%）を合わせた周知度は、20.6%となっていました。

24ページでは、市の将来像であるキャッチフレーズ「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」の認知度を聞いたところ、全体として、「今回のアンケートで初めて知った」と回答した割合が78.2%と高くなっていました。

25ページでは、市の行政情報をどのように入手するかを聞いたところ、全体として、「市報」（83.3%）が突出して高く、以下、「回覧板」（21.2%）、「市のホームページ」（20.0%）、「家族、友人」（13.6%）の順で高くなっていました。

26ページでは、市歌の認知度を聞いたところ、全体として、「市歌があることを知らなかった」と回答した割合が77.2%と高くなっていました。「知っていて（聞いたことがある）歌ったことがある」（1.9%）と「知っている（聞いたことがある）が歌ったことはない」（18.1%）を合わせた周知度は、20.0%となっています。

27ページでは、市歌を聞いた場所を聞いたところ、全体として、「防災行政無線（ふれあいメロディー）」（64.1%）が突出して高く、以下、「市主催のイベント」（14.8%）、「その他」（14.8%）の順で高くなっていました。

28ページから33ページでは「地域活動等の状況について」を示しています。28ページ

では、最近1年間の地域活動への参加状況について聞いたところ、全体として、「参加したことがない」と回答した割合が74.9%と高くなっています。

29、30ページでは、28ページの質問において「参加したことがある」と答えた方に参加状況と今後の参加意向について質問しました。最近1年間に参加した割合が高い地域活動等（「週に3回以上参加している」＋「週に1～2回参加している」＋「月に1～2回参加している」＋「年に数回参加している」）は、「地域で開かれるイベントへの参加」（55.2%）が最も高くなっています。以下、「町会・自治会」（46.9%）、「スポーツや芸術・文化等のサークル活動」（38.1%）が高くなっています。今後の参加意向の高い地域活動等（「参加したい」＋「なるべく参加したい」）は、「地域で開かれるイベントへの参加」（61.9%）が最も高く、以下、「スポーツや芸術・文化等のサークル活動」（57.8%）、「地域での頼まれごとへの対応・困っている人の日常的な手助け」（46.2%）が高くなっています。

31ページでは、28ページにおいて「参加したことがある」と答えた方に参加のきっかけを質問しました。全体として、「地域での活動に興味があった」（17.7%）、「知人・友人に誘われた」（17.0%）と回答した割合が高くなっています。

32ページでは、28ページにおいて「参加したことがない」と答えた方に理由を質問しました。全体として、「参加する時間がないから」（33.1%）が高くなっています。以下、「活動していることを知らなかったから」（18.1%）、「活動の内容が分からないから」（15.6%）、「関心がないから」（11.7%）の順で高くなっています。

33ページでは、28ページにおいて「参加したことがない」と答えた方に参加する条件について質問しました。全体として、「活動に関する情報提供」（31.3%）と「制約や負担の軽減」（31.0%）が高くなっています。

34ページから39ページでは「近年の社会トレンドについて」の回答を示しています。34ページでは、どのような社会情勢を重視して行政運営を行うべきかを聞いたところ、「少子高齢化と人口減少の更なる進行」（56.6%）が最も高く、以下、「安心して生活できる環境の実現」（54.9%）、「安全で持続可能な都市基盤の形成」（35.3%）と続いています。

35ページでは、市のデジタル化について期待することを聞いたところ、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（67.2%）が最も高く、以下、「市役所の手続きで記入の必要な書類が減る」（51.8%）、「自分が対象となるサービスや手続きの情報がオンラインで配信される」（38.5%）と続いています。

36ページでは、SDGsという言葉の認知度を聞いたところ、全体として、「言葉も知っており、内容も知っていた」（79.4%）が高くなっています。

37ページでは、SDGsについての関心状況を聞いたところ、全体として、「やや関心がある」と回答した割合が54.4%と高くなっています。「非常に関心がある」（13.3%）と「やや関心がある」（54.5%）を合わせた関心度は、67.7%となっています。

38 ページでは、37 ページにおいてSDGs について「全く関心がない/分からない」と答えた方に関心がない理由を聞いたところ、「SDGs という言葉が何を意味するのか分からないから」(47.8%)が最も高く、以下、「何をすればよいのか分からないから」(26.1%)、「取り組んでもあまり意味がないと感じるから」(26.1%)と続いています。

39 ページでは、SDGs のゴールのうち、市が重視すべきだと思うものを聞いたところ、「住み続けられるまちづくりを」(50.5%)が最も高く、以下、「すべての人に健康と福祉を」(41.3%)、「質の高い教育をみんなに」(26.5%)と続いていました。

40 ページでは、小金井市のまちづくりについて自由に御回答いただき、その結果を、テキストマイニングを用いて分析しました。「住」、「みやすい」、「続」などの単語が含まれ、「住みやすさを求める意見」として関連付けられます。「整備」、「道路」、「環境」、「バス」、「生活」などの単語が含まれ、「交通インフラや都市基盤に対する意見」として関連付けられます。

続いて、資料3「令和6年度小金井市小中学生アンケート結果報告書(概要版)」について御報告します。目次を御用意させていただいております。大項目1にて実施概要と設問一覧を掲載しており、大項目2にて調査結果を掲載しています。

2 ページから4 ページでは、実施概要を掲載しております。本アンケート調査は小金井市内の小学校6年生及び中学校3年生のクロムブックが貸与されている児童・生徒全員を対象としました。アンケートフォームを共有し、WEBで回答いただいております。小学生アンケートの有効回答数は882人で、中学生アンケートの有効回答数は612人となっています。

6 ページでは、「属性情報」として、通っている学校についての回答を示しています。回答の詳細は資料のとおりです。

7 ページから12 ページでは「集計結果」を示しています。7 ページでは、小金井市に対してどのようなイメージを持っているかを質問しました。自由回答をもとに、テキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「自然」や「緑」、「豊か」、などの単語から、「自然が豊か」という認識があることがうかがえます。また、「治安」、「良い」、「安全」、「安心」などの単語から、「治安が良く安全・安心」という認識があることがうかがえます。

8 ページでは、小金井市の好きなところを質問しました。小学生においては、「川や緑地など豊かな自然環境がある」(73.1%)が最も高く、以下、「身近な場所に公園(遊び場)がある」(67.2%)、「犯罪、災害が少なく安全で安心な環境がある」(50.3%)と続いています。中学生においては、「川や緑地など豊かな自然環境がある」(71.6%)が最も高く、以下、「犯罪、災害が少なく安全で安心な環境がある」(51.3%)、「身近な場所に公園(遊び場)がある」(48.9%)と続いています。

9 ページでは、将来も小金井市に住みたいかを質問しました。小学生においては、「どちらとも言えない」(38.0%)が最も高く、以下、「住み続けたい」(25.5%)、「どちら

かという住み続けたい」（25.2%）と続いています。中学生においては、「どちらかという住み続けたい」（37.3%）が最も高く、以下、「どちらとも言えない」（35.3%）、「住み続けたい」（16.2%）と続いています。

10ページでは、将来小金井市がどのようなまちになってほしいかを質問しました。自由回答を、テキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「自然」や「緑」、「多い」、などの単語から、「自然環境の維持」というイメージが多くあることがうかがえます。また、「平和」、「犯罪」、「このまま」などの単語から、「平和で安全な環境の維持」というイメージが多くあることがうかがえます。

11ページでは、10ページに答えたまちになるためのアイデアを質問しました。小学生・中学生ともに「増やす」や「店」、「作る」などの単語から、「商業施設の増加」というイメージが多くあることがうかがえます。また、「自然」、「大切」などの単語から、「自然環境の保持」というイメージが多くあることがうかがえます。

12ページでは、小金井市に対しての自由な意見を記入してもらいました。テキストマイニングを用いて分析しました。小学生・中学生ともに「学校」、「トイレ」、「きれい」、「にしてほしい」などの単語が並び、「学校設備の改善」という意見として関連付けられています。また、「公園」、「増」、「遊」、「ボール」などの単語が並び、「子どもの遊び場」を求める意見として関連付けられています。

資料4「市民懇談会・高校生ワークショップ～みんなで創る「こがねい」の未来～報告書（概要版）」について報告します。大項目1にて実施概要を掲載しており、大項目2にて実施結果を掲載しています。

1、2ページに実施概要を示しています。市民懇談会は、「幅広い年代の市民から小金井市についての意見を収集することで、後期基本計画策定のインプットとする。市民参加を促進し、計画に対する理解と協力を得る」ことを目的とし、実施しました。実施日程は、10月26日（土）13時～16時です。開催場所は市民会館（萌え木ホール）で、参加対象は市内在住・在勤・在学の18歳以上の方、参加人数は16人です。内容は「①市の良いところや改善点を話し合おう」「②市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を考えよう」です。

高校生ワークショップでは、「未来を担う高校生から小金井市についての意見を収集することで、後期基本計画策定のインプットとする。高校生にとっても、市政参画のきっかけとなる体験を演出する」ことを目的とし、実施しました。実施日程は、10月30日（水）17時～19時30分で、開催場所は市民会館（萌え木ホール）で、参加対象は市内在住・在学の高校生又は高校生世代の方で、参加人数は16人です。内容は「①市の良いところや改善点を考えよう」「②市の「課題」と「理想の未来」をもとに必要となる「施策」を話し合おう」「③ワークショップの振り返りをしよう」です。

2ページには実際に使用した募集チラシを掲載しています。

3 ページからワークショップの実施結果を示しています。今回のワークショップでは、2つのグループワークを行い、市が求められている事項について、意見を収集しました。

4、5 ページでは、「意見の一覧」を示しています。各班より出された意見を、それぞれ現行計画である「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」の施策の体系に基づき、分野毎に整理しました。

6 ページから市民懇談会における各班の「意見の詳細」を示しています。

1 班の課題は、市の存在感の薄さ（存在感が薄く、人が小金井市に来ない）です。理想の未来は、住民や観光客が多いまち（移住者が増える、他の市や区の方、外国人観光客が遊びに来てくれる、若い人が増え、子どもがたくさんいるまちになってほしい）です。課題解決に向けた「施策」案は、イベント開催・情報発信（都有地を活用し学生を集めた音楽フェスやアートフェスを行う、市の存在感を高め、人気を上げるために、広告の充実や発信を行う）です。

2 班の課題は、①コミュニティ不足（多世代が交わる場所がない、親同士のつながりがない）、②親へのサポート不足（親が相談する場所がない、若いワーママ・ワーパパの余裕のなさ、シングルマザー・シングルファザーの暮らしに余裕がない、親が休む権利がない）です。理想の未来は、教育でつながるまち（教育で大人も子どももつながるまち）です。課題解決に向けた「施策」案は、地域住民との交流機会の増加（アクティブシニアの力を活かす、大人のサークル（を設立する）、スポーツ・文化大会（を開催する）、大学生など学生との対話（の場を作る）、大学の多さとまちのコンパクトさを利用した大学と連携したまちづくり）です。

3 班の課題は、①行政による外国人支援の不足（（学校での外国ルーツ児童の）実態把握や外国人が相談できる窓口が不足している。日本語支援が行き届いていない）、②外国人とのコミュニケーション不足（生活環境の違いとコミュニケーション不足によるトラブルの懸念がある）です。理想の未来は、外国人にも優しいまち（外国人も住みやすいまち（多様な人を受け入れることで日本人にとっても住みやすいまち）、文化交流により（外国人への）理解が深まったまち、外国人が地域住民の一員として防災や教育にも関わるまち、（外国人を含めた）人同士でのやり取りがあるまち）です。課題解決に向けた「施策」案は、①異文化交流の促進（異文化交流を促進して、市の計画等に外国人の視点を入れる、優しい日本語での情報提供（平仮名活用や難解語句の言い換えなど））、②外国ルーツの子どもたちへの教育支援（（外国ルーツの）子どもたちへの日本語指導の充実、外国ルーツの子ども支援のモデルケースを参考にする）です。

4 班の課題は、①高齢者の学び場の不足（（シニアの）脳活のための施設がない、公民館などの公的な無料環境が少ない）、②子どもの学び場の不足（子どもの教育が学校教育に終始しがち）です。理想の未来は、①高齢者の学び場が充実したまち（新たな高齢者スクールを築く、シニアの認知症予防をする）、②子どもの学び場が充実したまち（学校教育と連携した地域社会の学びの場（があるまち）、子どもの興味に寄り添った学びの場が充実（しているまち））です。課題解決に向けた「施策」案は、①高齢者の学びの場づくり（コミュニティプロジェクト

トを新たに作る（地域カフェやシニアサロンなど）、脳活プログラム（健康麻雀等）を推進する）、②施設の充実（学校を中心に地域で利用できる施設を利用する、博物館・美術館の拡充）です。

5班の課題は、不透明な税金使途（税金の使い方のバランスが悪い、スピード感がない）です。理想の未来は、分配の見える化による市民に開かれたまち（分配の見える化（ヒトモノカネの分配が見える化する）、適切な分配の見直し）です。課題解決に向けた「施策」案は、①分配状況の公開（分配状況を市民が容易にアクセスできる（ように市報や市のホームページ等で公開する）、②行政の効率化（意思決定のスピードアップ、DXによる無駄遣いの削減、職員の削減）です。

11ページから高校生ワークショップにおける各班の「意見の詳細」を示しています。

1班の課題は、学校内外の交流不足（学校間での交流（が少ない）、学校外や地域との交流（が少ない）、留学生の受け入れを増やしてほしい（国際交流ができない））です。理想の未来は、様々な交流の機会があるまち（いろいろな人との交流を行う学習をする、地域をつなぎ、開かれた学びの場を、英語を話す機会が多い）です。課題解決に向けた「施策」案は、①学校間が連携した研究会（学会）の開催（高校生学会（学会のように、学校間で連携し、高校生同士が研究等の成果を発表する機会を設ける）、生徒が自分の研究を発表する、市内の学校を集めて発表交流などを実施する）、②交流イベントの開催（市としての学校交流イベントを開催する、English Workshopを開催する）です。

2班の課題は、①認知度の低さ（認知度（が低い）、PRが足りない）、②魅力不足（（小金井市としてPRできる）武器がない、住んでいる人ですら、ぱっと思いつく小金井市の魅力がない、観光スポットがない、住人に若い人が少ない）です。理想の未来は、①認知度のあるまち（小金井市といえば〇〇というものがある、毎日テレビで見る、目指せ第二の立川）、②魅力のあるまち（活気のある元気なまち、どこに行ってもにぎやか、夜でも明るい安全な場所）、③人が集まる小金井公園（にぎやかな小金井公園、若者同士が出会える小金井公園）です。課題解決に向けた「施策」案は、①広報強化（Instagram等を活用して、市の魅力やイベントを宣伝する）、②小金井公園をもっと活用しイベント開催（小金井公園でジブリの先行試写会を実施する、イルミネーションを実施する、BBQ、セグウェイ、自転車、花火大会などの高校生中心の小金井公園ツアーを開催する、子ども対象のお祭りや大人、学生を対象とした祭りを開催する、ライブ会場やスポーツ大会会場として活用する）です。

3班の課題は、①交通網の不足（交通の問題（バスなどの路線や本数が少ない）、東小金井駅のバスが少ない）です。理想の未来は、①移動に優しいまち（駅に行きやすいまち、移動しやすいまち）です。課題解決に向けた「施策」案は、①バス路線の整備（需要と供給のバランスを考えながら、バスの本数を考える）、②バス停の整備（バス停の屋根の設置（バス停で長い時間待てるようにする））、③自転車活用の促進（サイクリングロードを整備する、駐輪場を駅近くに整備する、駐輪場の定期契約と電車の定期券を連携させる（連携割引など））です。

4 班の課題は、公共施設の整備不足（学校などの公共施設が整備されていない、市役所の建設の話が進んでいない、（学校の）トイレが汚く、床がへこんでいる、C o C o バスの利用者が少ない）です。理想の未来は、公共施設が整備されたまち（公共施設がより計画的に整備され、より使いやすいものに（なったまち）、子どもの遊び場があるまち）です。課題解決に向けた「施策」案は、市民の意見が反映されやすい仕組みづくり（G o o g l e フォームなどを用いて意見投票をさらにしやすくする、年代に合わせた質問方法（郵便・WEB 回答等のアンケートを実施）、小学生に改善してほしいところを尋ねる。選択式の質問形式にすることで、小学生が答えやすくする）です。

1 5 ページと 1 6 ページには、会議の内容を絵や図で整理する「グラフィックレコーディング」を用いて記録した、ワークショップ当日の様子を掲載しています。

説明は以上です。

◎**富田企画政策課長** ありがとうございます。先ほど御説明させていただきましたが、資料 2 から資料 4 は概要版となっており、報告書につきましては、委員改選後の次回審議会にて御提示させていただきます。

また、各調査結果等につきましては、委員の皆様からの御意見等も踏まえ、できる限り計画に反映させてまいりたいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

◎**渡邊会長** 事務局から現時点で実施された取組等について御説明をいただきました。事務局からの説明に対し、何か御質問や御意見はございますか。あれば挙手をお願いいたします。

◎**浅野委員** 2 つお伺いしたいです。1 つ目は、今回のワークショップの内容は関係部署には共有されるのでしょうか。教育委員会に関係するトイレ等の意見が出ておりましたので、こういう声が上がっているということは関係部署に共有されるのでしょうか。2 点目は、市民意向調査の公表は次期の話になると思いますが、次期の委員がデータを独自に分析するというようなことは可能でしょうか。C S V や E x c e l の形式で共有いただくことは可能でしょうか。

◎**中島企画政策係長** ワークショップの結果につきましては、素案を各課と調整する段階で、共有していきたいと考えております。また、市民意向調査のデータは、委員へ共有可能ですので御活用いただければと思います。

◎**木場委員** データをどういう風に解釈したらいいかをお聞きしたいです。市民意向調査の 1 5 ページの小金井市の良い点や自慢したい点について、自然環境に係る項目が上位にある一方で、スポーツや文化活動、N P O などに係る項目は数パーセントとなっています。しかし、2 9、3 0 ページの地域活動への参加状況においては、スポーツや芸術・文化等のサークル活動が上位になっています。

◎**富田企画政策課長** 1 5 ページにおいてスポーツや文化活動は小金井市の特徴として目立っていない一方で、3 0 ページのスポーツや文化活動への参加意向がある人が多いという結果の背景として、3 0 ページにおいては、地域活動に参加していると回答した人を対象に具体的に

参加したい地域活動をお伺いしているため、15ページの回答者と母集団が異なり、地域活動により関心が高い方に回答いただいているためです。

◎田中委員 市民意向調査において、満足している観点と重要だと思う観念のギャップが大きいところがあり、気になります。ギャップが大きいところは教育や福祉などで、自然環境については重要だと認識しかつ満足している方が多い印象です。これらのギャップの分析が必要だと思います。分析は実施する予定でしょうか。

◎富田企画政策課長 分析すべき対象として次期委員に検討いただきます。一方で、幅広い方から意見を頂いておりますので、全てを把握するというのは難しいことが想定されます。御回答いただいた方やあらゆる属性の方へのヒアリングをしないと精度は上がらないのですが、補完的な意味を含めて市民ワークショップを開催しています。

◎須藤委員 調査結果は長期計画素案の審議に活用するのでしょうか。今回の説明はそのために提示したのでしょうか。

◎中島企画政策係長 計画素案の策定に向けて実施しており、調査結果をできる限り反映したいと考えております。素案に盛り込めるものがあるのかないのかも含めて、計画の修正点を考える上で参考にしていきます。

◎富田企画政策課長 全体として、担当課と協議の上、施策ごとに計画の改訂が必要な部分については改訂し、調査の結果や委員の皆様の知見をもとに御意見を頂き、次期委員の皆様に御検討いただきます。今回の審議会では調査結果等の概要説明を行いました。また、一部の方には引き続き委員を継続していただくため、説明させていただきました。次回の審議会では、委員の入れ替わりがあるため、調査結果を改めて御説明させていただく予定です。

◎須藤委員 調査を実施した意図として、長期計画審議会による施策評価と市民による評価の比較という観点もあるのでしょうか。

◎富田企画政策課長 施策評価につきましては、年度ごとに評価をしていただいております。評価いただいたものは、各担当課に共有されておりますので、進行中の事業や次年度以降の計画に反映していきます。今回は市政に関わりがあるなしを問わず、一般の方に広く実施している調査であり、行政内部や委員の方の意見だけでなく、あまり市政に興味がない方も含め、市民感覚がどのようなものを把握するために実施しております。

◎須藤委員 市民意向調査の34ページの社会トレンドについて、重視すべき社会情勢としてSDGsがありますが、SDGsについて質問で深掘りしている意図はあるのでしょうか。

◎富田企画政策課長 SDGsについては、前期基本計画にも取組の一覧を記載しており、市の施策が、どのSDGsに該当するかを明らかにしています。SDGsを念頭に、10年間にわたる小金井市の運営を、どのように行っていくかという計画を明記しているため、そのような観点でも市民により理解を深めていただきたく、どういった認識であるかを把握するために追加した項目となっています。

◎田中委員 ワークショップは素晴らしいと感じました。市民の生の声を反映するのは分かりましたが、募集人数が少ないと感じました。ワークショップには選ばれた方が参加しているのでしょうか。

◎富田企画政策課長 市民懇談会につきましては、公募で40人募集したところ、16人の方に御参加いただきました。20代から30代の方を対象とした、昨年の若者MIRAIトークに参加していただいた方にも御案内しましたが、時期的に忙しく、土曜日で長時間の開催のため、御参加いただいた方は比較的年齢層が高かったです。また、これまでも市政に関心が高かった方が多く参加していました。市報や公共施設でのチラシ配布や紙での応募だけでなく、WEBでも募集し、簡易に応募いただけるように工夫はしていましたが、残念な結果となりました。高校生ワークショップについては30人の定員で、市内にある5つの学校に2人ずつ推薦してもらいました。また、市内の学校に推薦していただくと、市内に詳しくない市外在住の生徒も多いため、公募を多くしましたが、中間試験や修学旅行、運動会等の時期が重なり、公募で応募いただいた生徒は6人でした。

◎田中委員 ワークショップの内容が、本当に市政に反映されることが伝われば、参加者が増えると思います。

◎渡邊委員 このような取組自体に価値があります。また、これだけのことをやれる市民や生徒がいることは小金井市民の市民性が高いという印象を受けます。東京学芸大学で青少年の科学の祭典を開催しましたが、参加するとお礼をして頭を下げていく生徒がほとんどでした。こんなに礼儀の正しい青少年が多いことを経験したことがありません。そう考えたときに、行政と市民の協働という考え方があると思いますが、協働という位置付けを変えてもよいのではないかと考えます。むしろ市民が主体となった格好でいろいろなことを進めていただいて、行政はコントロールして全体管理をしていくという形で、市を運営していくことが十分できるくらい市民は育っているという印象を受けます。NHKのJ-POPの世界大会を見ておりましたが、SNSで発信して世界中で見られていく、感動した人たちがまた発信していくという構造です。小金井市は28番目の施策でDXについて触れており、行政としてのDXを発信していくのもそうですが、小金井市民が自分たちで魅力を勝手に発信し共有してもらおうというのでしょうか。海外の方にもたくさん来ていただいているため、彼らをケアの対象ではなく、異文化の視点で小金井市を見てもらい、小金井市が面白いと発信してもらい、つまり小金井市が彼らをサポートするのではなく、彼らにサポートしてもらいようにする、そういう枠組みができると思います。小金井市で見慣れている何でもない風景が海外の人から見ると面白いことがあると思います。小金井市というと「桜」というイメージがありますが、他にもあるはずです。もちろん、SNSだけに依存すると、選挙のように影響を受ける懸念がありますが、小金井市民の市民性の高さを考えると、その心配も少ないはずです。市民が市をつくっていくとよいと思います。自然について、小金井市は自然豊かと言われるそうですが、文化的につくられた自然です。人間関わった自然であるという認識を持っていただきたいと思います。

◎**檜山委員** 市民意向調査の内容について、市のキャッチフレーズや市歌について、なぜ質問したのでしょうか。聞くことによって発展した何かがあると良いと思います。アンケートでは市民の皆さんが何を重視しているか、市が重視すべきところが顕著に表れていると思いますので、アンケートの結果で重要なところに重点を置いてワークショップを開催すると良いと考えます。

◎**中島企画政策係長** 市歌につきましては、周知に苦慮しているところであり、令和6年4月1日より防災行政無線での使用を開始したことから、周知度を確認するため質問しました。結果としては周知が進んでいないことが確認されたため、さらなる周知のための取組が必要と考えております。

◎**富田企画政策課長** 市歌について補足ですが、市政施行60周年の記念で市歌を制定しました。昨年5周年となり、普及促進ということで各課や市内で周知を行っています。しかし、市歌を制定後、新型コロナウイルス感染症の流行により合唱の機会がなくなりました。普及促進を実施したことによる活動効果を確認したい意図で設問に含めておりました。

◎**井寺委員** 無作為抽出で居住エリアが分かれて回答があったことが良かったと思います。暮らしているエリアによって環境が大きく違うと思います。東小金井、武蔵小金井、野川周辺で大きく特色が違うため、エリアの違いを考慮する必要があります。野川は高齢者の買い物の場所がなく、東小金井は次々に新しい世代が入っていて、武蔵小金井は都心で暮らしていてマンションを購入している人が見られます。3つのエリアごとに市政が意見をどう反映させるのかを知りたいと考えています。市民意向調査における回答者の居住地を、意図的にバランスよく分けたのかを知りたいと思います。小金井市の地価が上がっているため、住む方の属性が大きく変わると思います。注意深く見守らないと1年、2年で地域の雰囲気が大きく変化していくと、暮らしながら感じています。また、農地については、高齢化とどちらが先かという難題に直面しています。高齢化で相続問題が発生すると売らざるを得ない農地が出てくるのが想定されます。市民が農業の重要性に気づいた際に、実際に農地が残っているよう、行政がうまく取り組んでいただきたいと思います。市民力は素晴らしいと思います。

◎**中島企画政策係長** 回答者の居住エリアについては無作為抽出の段階で調整しておりましたが、御回答いただいた方の居住エリアのバランスが良い結果となったのは偶然です。

◎**富田企画政策課長** 居住エリアについて補足ですが、都市計画マスタープランと同様のエリア分けをしています。また、人口ビジョンの観点からも、このような区分としております。

◎**井寺委員** 都市計画マスタープランを鑑みながら、今後の話し合いを行っていく予定でしょうか。

◎**富田企画政策課長** 都市計画に関する施策につきましては、都市計画マスタープランの担当部署へのヒアリングや意見交換を行っていく予定です。

◎**鈴木委員** 市民意向調査に回答いただく中で、市の施策の重要度について回答いただく際には、市の計画書を見ることができるようにしているのでしょうか。それとも施策の言葉だけで

判断してもらっているのでしょうか。どちらでしょうか。

◎中島企画政策係長 回答用紙及び回答フォーム上にて、第5次小金井市前期基本計画を御案内しております。御覧いただいた上で、御回答いただきたいという意図でした。

◎渡邊会長 本日報告いただいた内容は、今後の計画の1つの材料となります。行政は、プロとして小金井市のことをよく知っていると思いますので、実現可能性を踏まえた上で計画にきちんと組み込んでいると思います。個人的には、枠組みの中に納まっているだけではなく、小金井市を思い切り変えていこうというような議論が出てきてほしいと思っています。それが可能な時代です。情報インフラが変わっているため、世界の小金井市になると思っています。そのような型破りな内容も考えていただきたいです。

それでは最後に「次第3 その他」です。

◎富田企画政策課長 本日は任期期間中の最終回ということで、企画財政部長より御挨拶申し上げます。

◎水落企画財政部長 皆様には、現在の市の施策の進捗状況について、様々な視点から御意見をいただき、令和4年度から令和6年度の施策評価に御尽力いただきました。誠にありがとうございます。いただいた御意見は、施策の目標達成に向けた改善・見直しに役立てていきますのでよろしくお願いいたします。また、今年度は後期基本計画に向けた市民意向調査、小中学生アンケート、市民懇談会、高校生ワークショップに御協力いただきまして、こちらにつきましても重ねてお礼申し上げます。来年度は後期基本計画の本格的な審議となります。次期委員を引き続きお引き受けいただいた方もいらっしゃるかと伺っております。この場をお借りして御礼申し上げます。小金井市をさらに「住みやすい、住み続けたい」と言われるまちにするため活発な御審議をいただきたいと思います。2年間、本当にありがとうございました。

◎渡邊会長 ありがとうございました。その他はよろしいですか。

◎富田企画政策課長 次回以降の日程につきまして、お知らせいたします。次回以降は、委員改選後の開催となりますが、3月上旬及び3月下旬に開催を予定しております。日程調整につきまして、引き続き委員となられる方には、昨日事務局からメールで依頼させていただいておりますので、12月25日（水）までに御回答ください。日程は決定次第、改めて御連絡させていただきます。以上です。渡邊会長、よろしくお願いいたします。

◎渡邊会長 次回の日程について、事務局から提案がありました。引き続き委員になられる方にのみ、事務局からメールが届いているとのこと。御返事がまだの方はよろしくお願いいたします。他にございますか。

それでは、本日の議題は全て終了しましたので、これで令和6年度第4回長期計画審議会を終了します。皆様、2年間お疲れ様でした。

(午後0時5分閉会)